

岩手県立総合教育センター

令和4年度 スキルアップ研修講座

いざ！センター夏の陣

令和4年 7月28日（木）・8月2日（火）・4日（木）の3日間

のご案内

この夏、小学校、中学校、高等学校の各教科と養護教諭、栄養教諭の各専門分野のスキルアップ研修講座を開講します。

著名な大学教授等、多彩な講師陣による貴重な研修講座が目白押し！

これからの実践に役立つこと間違いなし！

校種に関わらず、どなたでも自由に講座を選択できます。

この機会にスキルアップし、更なる高みを目指しませんか？



申込方法

- 岩手教育情報交流ネットから申し込んでください。
- 岩手教育情報交流ネットが利用できない場合は、「教職員研修の手引」の【研修様式1】に記入し、Faxでセンターに直接申し込んでください。

申込締切

- 申込締切日は、研修講座によって異なりますので、各講座の申込締切日をご確認ください。
- 募集定員に達した場合は、その時点で申込みを締め切りますので、ご了承ください。

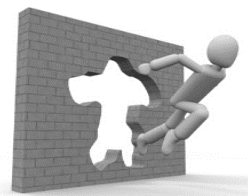
募集対象

幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に所属する教員

※校種に関わらず、どの研修講座にも申し込むことができます。

その他

- 都合により講座内容が変更になることがあります。



お問合せ

岩手県立総合教育センター

電話：0198-27-2833（企画担当）

Fax：0198-27-3562（代表）

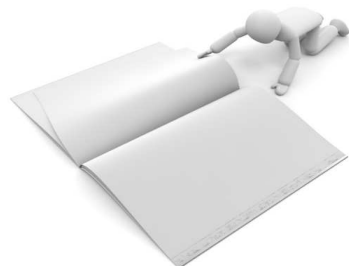
【講座一覧】

実施期日	講座番号 講座名	主な講座内容等	申込締切日
7月28日（木）	3111 小学校スキルアップ	○小学校の各教科の研修講座です。 詳しい講座内容等については、下表をご覧ください。 ○この講座は、1コマ85分の講義を4コマ行います。 申込みの際は、下表の「コマ数」を参考にして、必ず4コマを選択してください。	6月28日

表「3111_小学校スキルアップ研修講座 各教科の主な講座内容等」

教科名	コマ数	主な講座内容等	定員
社会	1	社会的な見方・考え方を働かせる授業とはどんな授業なのかをテーマに行う講座です。その中で子供たちの資質・能力を伸ばす授業のしかけをどのように準備すればいいかなどを授業映像を交えながら学びます。	40名
理科	1 2	問題解決の活動の充実を図る指導の在り方について、エネルギー領域は「音(3学年)・「電気の利用(6学年)」、粒子領域は「物の温まり方(4学年)・「物の溶け方(5学年)」、生命領域は「生物と環境(6学年)」、地球領域は「流れる水の働き(5学年)・「土地のつくり(6学年)」を取り上げて研修します。 理科の4つの領域（エネルギー・粒子・生命・地球）の中から、全ての領域又は2つの領域を選択して研修することができます。全ての領域を選択すると2コマ、2つの領域を選択すると1コマ分の研修になります。全ての領域の研修を希望する場合は①を、2つの領域の研修を希望する場合は②～⑦のうちから一つ選んでください。 ①エネルギー・粒子・生命・地球 ②エネルギー・粒子 ③エネルギー・生命 ④エネルギー・地球 ⑤粒子・生命 ⑥粒子・地球 ⑦生命・地球	120名
生活	1	教科等間の横のつながりと、幼児期からの発達段階に応じた縦のつながりととの結節点としての生活科について、学習指導要領に基づきながら学びます。「気付きの質」を高める活動や体験について、演習を通して具体的に学んでいきます。	40名
音楽	1	学習指導要領の趣旨を踏まえ、6つの分野それぞれの授業の進め方や、ICTの活用方法などを演習します。講義や演習を通して、様々な授業づくりのヒントが得られる講座です。	80名
図画工作	1	学習指導要領の趣旨を踏まえた図画工作科の授業改善について、題材設定や授業づくりの視点から理解を深める講座です。資質・能力の育成のためのA表現における指導と評価の具体について、講義と演習を通して考察していきます。	80名
家庭	1	学習指導要領における新設内容と家庭科における指導と評価の一体化について、授業事例を参考にしながら講義を行います。また、生活に役立つ布を用いたものの製作については、ミシンを使用した袋の製作過程の演習を通して確認し、スキルアップを目指します。（5・6学年の担当の方は、受講推奨教科となります。）	40名
体育	1	学習指導要領で求められる体育の授業について、理論と実習の両面から学ぶ講座です。その中では「よい体育授業」をテーマに子供の発達段階に応じた指導について、実技実習も交えて学ぶ講座です。	80名

実施期日	講座番号 講座名	主な講座内容等	申込締切日 (定員)
7月28日(木)	3481 養護教諭専門 スキルアップ	弘前大学大学院の小林央美先生を講師としてお招きし、多様化・複雑化する児童生徒が抱える様々な健康課題に対して、養護教諭がその職や職務の特質を生かしながらどのように支援を行えばよいのかについて学びます。健康相談活動の理論や方法、連携の在り方等について演習も交えながら理解を深めます。	7月14日 (25名)
	3482 栄養教諭専門 スキルアップ	食物アレルギーについて、データや事例を基に最新の考え方と学校での対応について学び、エビデンスに基づいた実践を使った演習も行います。また、スポーツをする児童生徒の栄養管理や、栄養教諭による個別相談の流れと面談の方法などについて、演習を交えながら学びます。	7月14日 (15名)
8月4日(木)	3127 中学校国語	中学校学習指導要領解説「国語編」の執筆者でもある宮城教育大学の児玉忠先生を講師としてお招きし、国語科の授業改善や教材研究の在り方について学びます。さらに、国語科における学習評価の進め方についても理解を深めます。また、書写指導のポイントについて実技を通して学ぶことができる貴重な講座でもあります。	7月7日 (20名)
	3127 中学校社会	社会的な見方・考え方を働かせる授業と評価の在り方について、学習指導要領の作成に関わった小栗英樹先生、社会科の教材研究の進め方について、東北学院大学の佐藤正寿先生を講師としてお招きします。生徒が主役となり輝ける授業をデザインするための内容が多く学べる講座です。	7月7日 (20名)
	3127 中学校数学	数学の授業における効果的なICTの活用について、実際にタブレットを操作しながら学びます。数学的活動に焦点を当てた授業改善についても考えます。すぐに授業に取り入れたいくなる内容です。また、指導と評価の一体化に向けた学習評価の在り方について、評価問題を示しながら学んでいきます。	7月7日 (20名)
	3127 中学校理科	学習指導要領の趣旨や諸調査結果に基づいた授業改善について研修します。講義と実習では、①エネルギー(電流と磁界、放射線)と②生命(DNA簡易抽出、煮干しの解剖)のどちらかを選択、③粒子(化学変化、酸化・還元)と④地球(火山立体モデル、筋状雲)のどちらかを選択し、「観察・実験の指導」について理解します。	7月14日 (16名)
	3127 中学校音楽	学習指導要領の趣旨を踏まえた日々の授業の進め方や評価規準の作成方法、ICTの活用方法などを演習します。講義や演習を通して、様々な授業づくりのヒントが得られる講座です。	7月21日 (20名)
	3127 中学校美術	学習指導要領の趣旨を踏まえた美術科の授業改善について、題材設定や授業づくりの視点から理解を深める講座です。資質・能力の育成のためのA表現における指導と評価の具体について、講義と演習を通して考察していきます。	7月21日 (20名)
	3127 中学校保健体育	東海大学の太田正大先生を講師としてお招きし、豊かなスポーツライフを実現する「体育理論」と「体づくり運動」について学びます。午前中は体育理論を学ぶ意義や生徒に考えさせたい「スポーツの本質」について理解を深め、午後は演習を交えて、「体づくり運動」について授業に役立つ内容を学びます。	7月21日 (20名)
	3127 中学校技術	「技術分野の指導上の課題とこれからの指導の在り方」とD情報の技術(指導計画と評価、プログラミングの指導内容)について講義と演習を行います。また、情報モラル指導や今後の技術分野の指導について岩手大学の宮川洋一先生を講師としてお招きし、講義をしていただきます。	7月21日 (10名)
	3127 中学校家庭	前半は「家庭分野に求められる資質・能力」と「家庭分野における指導と評価の一体化」について講義を行います。後半の「実践的・体験的な学習活動の工夫について」は科学的な視点から理解を深め、よりよい生活を目指すための衣生活の教材を用いた実験を行い、授業実践の力を高める講座です。	7月21日 (10名)
3127 中学校英語	第二言語習得理論に基づいた指導法についての講義や演習を通して、授業スキルの向上を目指します。東北学院大学文学部教育学科教授で副学長の村野井仁先生と宮城教育大学教職大学院の鈴木渉先生を講師としてお招きし、小学校からの接続、高等学校への接続を意識した授業づくりについての理解を深める講座です。	7月21日 (20名)	



実施期日	講座番号 講座名	主な講座内容等	申込締切日 (定員)
8月2日(火)	3137 高校国語	「現代の国語」及び「言語文化」の単元構想づくりの演習を通して、単元の目標、評価規準、言語活動、評価問題等の考え方、教材開発の方法について理解を深めます。文部科学省初等中等教育局教育課程課主任視学官の御経験もある田中孝一先生を講師としてお招きします。授業づくりのヒントを得られる講座です。	7月19日 (25名)
	3137 高校地歴・公民	地理歴史・公民科の今求められている、これからもつべき視点について学べる講座です。今後に活かせる先輩の経験を、演習を通して学びながら「見方・考え方」を働かせた授業におけるICT活用や生徒への支援について理解を深めます。	7月19日 (20名)
	3137 高校数学	学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた授業改善を目的とした講義や演習を行います。各種学力調査から見える成果や課題を基に、数学的活動の一層の充実に向けた授業改善を考えていきます。東北学院大学教養学部情報科学科の佐藤篤先生を講師としてお招きし、ピクソの公式について演習します。	7月19日 (20名)
	3137 高校理科	生徒の学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの実現の視点から授業改善を図る「指導と評価の一体化」について学びます。また、4科目それぞれで定番の観察・実験を行うことを通して、授業改善を図るためのヒントを得るとともに、観察・実験のスキルアップを目指します。	7月19日 (16名)
	3137 高校保健・体育	東海大学の太田正先生と岩手大学の清水将先生を講師としてお招きし、様々な演習を取り入れながら研修を行います。スポーツの価値観を育む体育理論や体作り運動の授業づくり、ロイロノートを活用した保健教育の単元構想など、今後の指導に役立つ内容が満載の講座です。	7月19日 (20名)
	3137 高校音楽	授業実践や研究などを全国に発信している島田聡先生を講師としてお招きし、学習指導要領の趣旨や、それを踏まえた授業について、具体的に指導していただきます。小学校、中学校の先生方も受講できます。	7月5日 (20名)
	3137 高校美術	学習指導要領の趣旨を踏まえた美術科の授業改善について、題材設定や授業づくりの視点から理解を深める講座です。資質・能力の育成のためのA表現における指導と評価の具体について、講義と演習を通して考察していきます。研修を通して新たな題材や発見などを探し求めていきます。	7月19日 (10名)
	3137 高校書道	岩手大学の久保田陽子先生を講師としてお招きし、書芸術の歴史と美意識についての講義や毛筆による書体デザインについての実習を行います。書の伝統と文化を踏まえながら、生徒が感性を働かせ、表現と鑑賞の相互関連を図りながら能動的に学習を深めていくための指導の在り方について学びます。	7月19日 (10名)
	3137 高校英語	小学校、中学校、高等学校の系統性を意識した指導と評価についての講義や演習を行います。東北学院大学文学部教育学科教授で副学長の村野井仁先生とテスト研究の第一人者である上智大学大学院言語科学研究科の渡部良典先生を講師としてお招きし、演習を通して授業のスキルアップを目指す講座です。	7月19日 (20名)
	3137 高校家庭	「学習指導要領を踏まえた指導と評価について」、「ホームプロジェクトと家庭クラブ活動の学習指導について」、「家庭科教員に期待するもの」について講義と演習を行います。「衣食住の生活の自立と設計の学習指導について」では、科学的な実験から理解を深めていきます。	7月19日 (10名)
	3137 高校情報	実践的な事例の紹介や教科の特性について学ぶ機会とします。「情報通信ネットワーク」や「データの活用」などの専門的な内容を基礎から学ぶとともに、プログラミング言語のPythonを活用したプログラミングの実習を行います。今年度から始まる「情報I」の授業づくりに役立つ内容構成となっています。	7月19日 (10名)
	3137 高校農業	農業大学校を会場とし、校長から農業の現状と方向性について講義をしていただきます。農業大学校の先生からは、農業最先端技術（GAP、スマート農業）の視点で講義と演習をしていただきます。また、学習指導要領を踏まえた「プロジェクト学習法」や「学習評価」について講義と演習を行います。	7月19日 (10名)
	3137 高校工業	元県立工業高等学校長と高等教育機関の校長から、工業教育の実践的な取組事例や今後の工業教育の在り方について講義をしていただきます。また、3D-CAD（SolidWorks操作実習）、機械保全技能検定（電気系保全作業）からいずれかを選択し、講義と演習（実技）を行います。	7月19日 (15名)
	3137 高校商業	実践的商業教育への取組及び、学習指導要領で大きく改編されたマネジメント分野について、大学の先生からグローバルな視点をもって、講義と演習をしていただきます。また、企業の講師から実際行われているマーケティングの方法や企業活動の実際について講義していただきます。	7月1日 (20名)
	3137 高校水産	水産技術センターを会場とし、所員の方から設備の説明、資源増殖に関する講義をしていただきます。また、高等学校で水産に長く携わる学校関係者から、心構えや水産教育に関する講義をしていただきます。さらに、大学の先生から近年の海洋環境に関して、データを根拠とした講義をしていただきます。	7月19日 (10名)
3137 高校福祉	文部科学省初等中等教育局の矢幅清司視学官と東北福祉大学の田中尚先生を講師としてお招きし、学習指導要領に関することや教科「福祉」の指導のポイント、多様性と社会包摂に向けての社会福祉の在り方等について学びます。	7月19日 (10名)	